



## 第 2 章 緑の現況



## 2-1 自然的条件

### (1) 地形

北西部に愛鷹山麓の斜面地、  
南東部に扇状地や三島溶岩の台地が広がる

- ・町域の北西部に愛鷹山と山麓斜面地があり、桃沢川・梅の木沢川の侵食によって急な斜面を持つ谷底低地が形成されています。
- ・町域の東南部は、黄瀬川扇状地とそれを侵食してできた低地、富士山から流れてきた三島溶岩の扇状地が占めています。
- ・三島溶岩がつくった鮎壺の滝のほか、町内に伊豆半島ユネスコ世界ジオパークのジオサイトが10箇所あります。

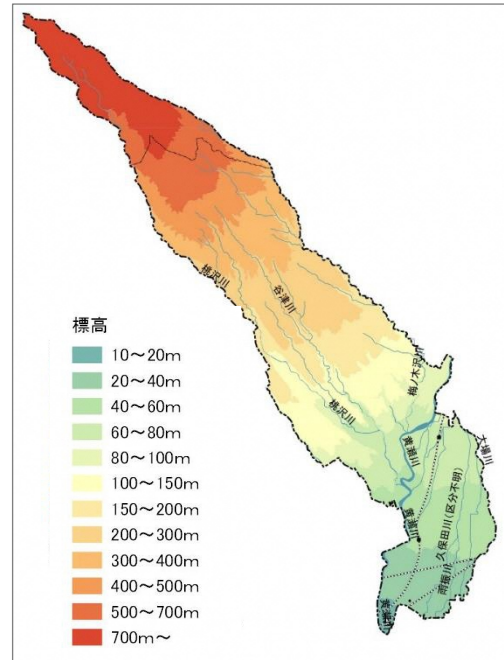


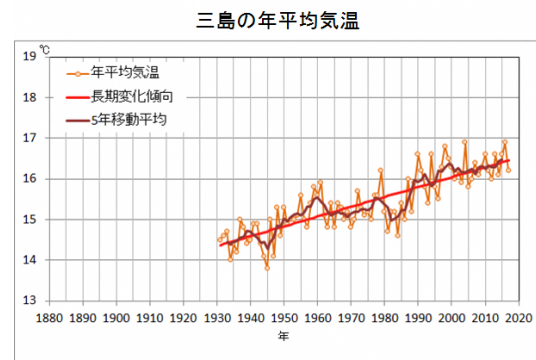
図 地形

資料：平成27年都市計画基礎調査

### (2) 気候

気候は温暖で、気温は上昇傾向にある

- ・本町の年平均気温は約17℃であり、温暖な町です。
- ・昭和6(1931)年からの長期間の動向を見ると、三島の平均気温は、上昇傾向にあります。
- ・1時間降水量50mm以上の非常に激しい雨の発生する年が、5年に1回程度見られます。

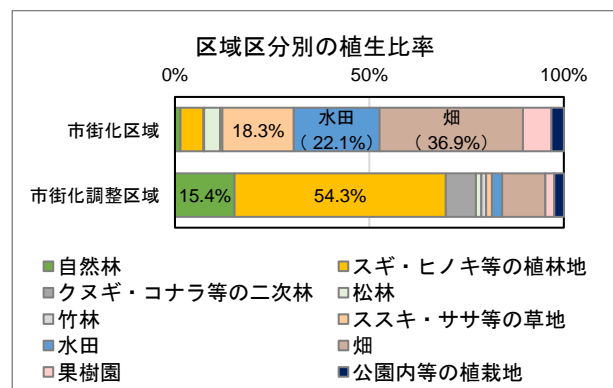


資料：静岡地方気象台

### (3) 植生

山麓部にスギ・ヒノキの植林地が多く、市街地内では田畑も見られる

- ・愛鷹山地では近代に入ってヒノキの植林が積極的に行われたことから、市街化調整区域では、「スギ・ヒノキ等の植林地」が54.3%を占めています。
- ・市街化区域では、畑や水田が植生の約6割を占めており、身近な自然的環境となっています。



資料：平成27年都市計画基礎調査



## (4) 動植物の生息

### 貴重な動植物が確認されている

- ・ 学術論文などの既存資料では、町内に 1,396 種の植物と 270 種の動物が記録されています。特徴的な植物としてアシタカツツジ、マメザクラなどのフォッサマグナ要素<sup>注1</sup>の植物があげられます。
- ・ 一方、「静岡県版レッドリスト・レッドデータブック」によると、本町で絶滅の可能性がある動植物として 127 種があげられています。

## (5) 緑被地の現況

### 北東部を中心に緑被地が広がっている

- ・ 国土数値情報の土地利用細分メッシュデータで、樹林地、草地、農地などの植物で覆われた土地及び水辺地（緑被地）の状況を見ると、町域の北東部に広がっており、都市計画区域では 1,170ha（緑被率<sup>注2</sup>：約 55%）となっています。
- ・ 「森林」が最も広い範囲を占め、次いで「その他の農用地」が多い状況です。

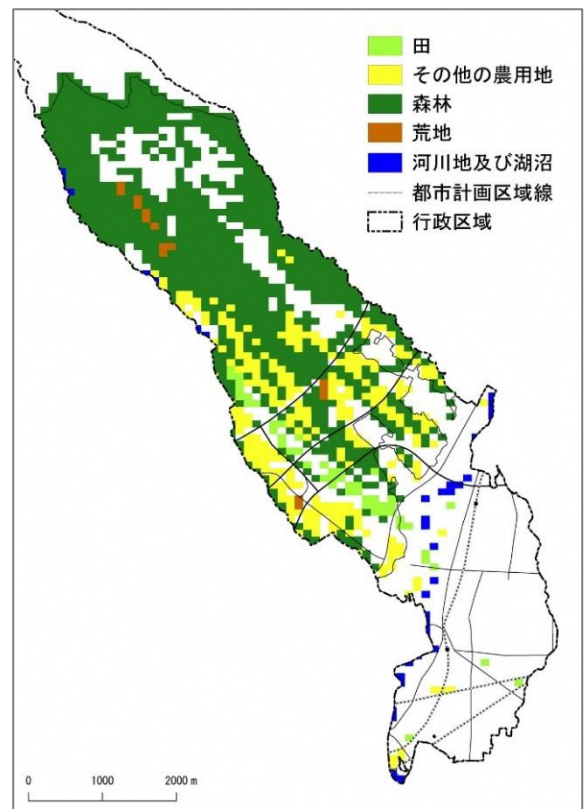


図 土地利用分類上の緑被地（2016 年度）  
資料：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ

## (6) 災害

### 町内各地に地震、水害、土砂災害等の危険な箇所がある

- ・ 地震災害について、東海地震などの大規模災害が予想されています。
- ・ 水害は中小河川で局地的に発生する傾向ですが、大河川においても今後の開発に伴い災害が発生する可能性があります。
- ・ 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）が 39 箇所、そのうち急傾斜地崩壊危険区域が 3 箇所指定されており、降雨時や地震時に被害が発生する恐れがあります。
- ・ 下土狩地区は木造建物が密集しており、火災が発生すると延焼する危険性があります。

注1 火山噴出物による種の変成、隔離による分化、海洋性気候への適応により生まれたとされる植物群。

注2 国土数値情報の土地利用細分メッシュデータで、樹林地、草地、農地などの植物で覆われた土地及び水辺地の占める割合。

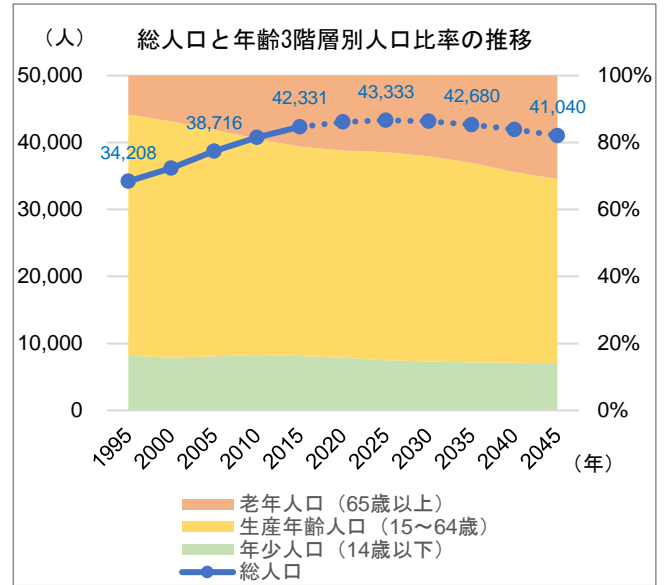


## 2-2 社会的条件

### (1) 総人口・年齢3階層別人口

人口は増加しているが、いずれ減少する予測であり、徐々に高齢化が進行している

- ・人口の推移を国勢調査のデータで見ると、長泉町の総人口は近年増加傾向が続いていますが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和7（2025）年をピークに人口減少に転ずると推計されています。
- ・年齢3階層別人口の推移をみると、平成17（2005）年に年少人口と老年人口が逆転し、高齢化が進んでいます。



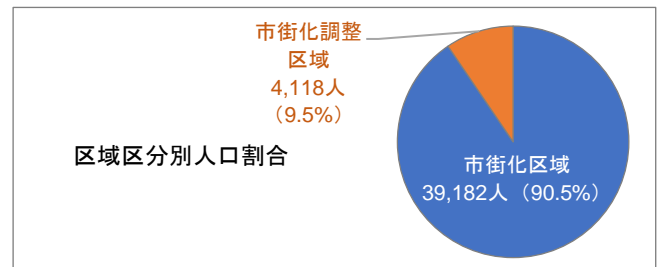
※2015年までは実績値、2020年以降は推計値。

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

### (2) 区域区分別人口

市街化区域内に人口の約9割が居住している

- ・都市計画区域内の人口は平成31（2019）年において43,300人で、そのうち約9割（39,182人）は市街化区域に居住しています。
- ・町城南東部のコンパクトな市街地の中に、多くの人口が集中しています。



※人口は住民基本台帳を基に算出（外国人を含む）。

資料：静岡県の都市計画（資料編）平成31年3月データ

### (3) 地区別人口密度

国道246号以南の市街地内で人口密度が高い

- ・地区別の人口密度を見ると、概ね国道246号以南の市街地で密度が高く、特に杉原区、西区などでは100人/haを超えています。
- ・平成17（2005）年から平成27（2015）年の10年間の人口密度の増減を見ると、特に原分、谷津、西、杉原の各区で増加しています。

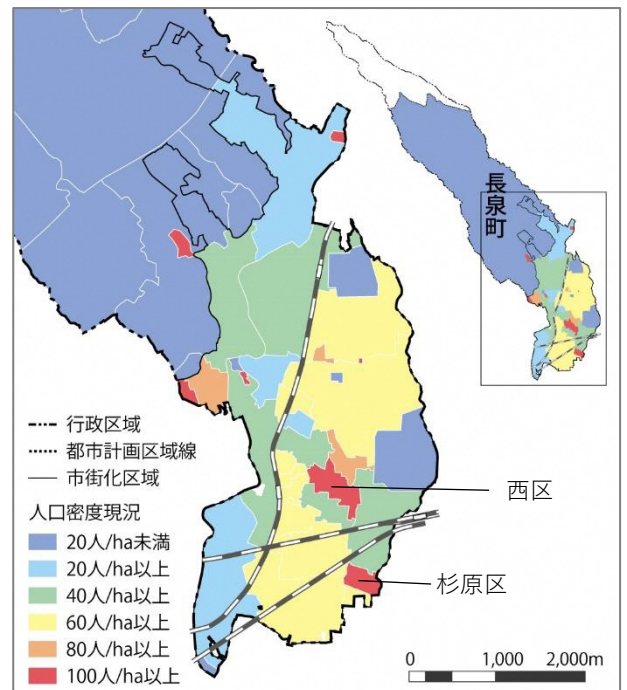


図 地区別の人口密度現況

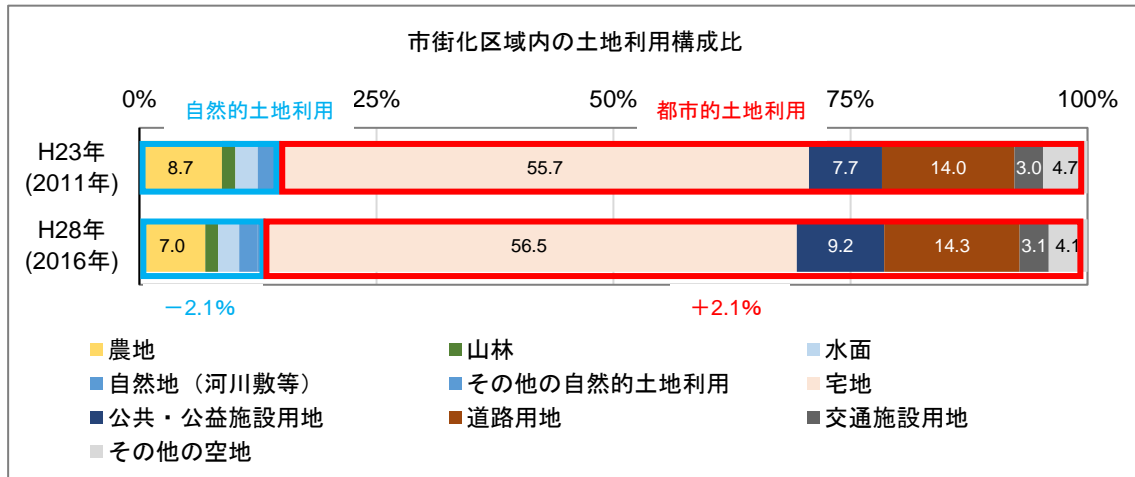
資料：平成27年国勢調査



### (4) 土地利用の変化・開発の動向

#### 市街地内では、開発等により都市的土地利用が増加している

・平成 23 (2011) 年から平成 28 (2016) 年までの市街化区域内の土地利用の変化を見ると、農地などの自然的土地利用が占める割合は 15.0% から 12.8% に減少する一方で、都市的土地利用の占める割合が 85.0% から 87.2% に増加しています。

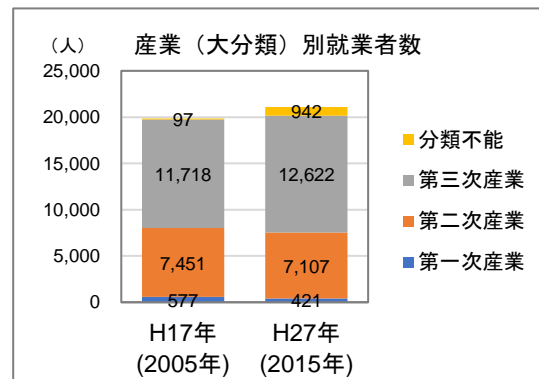


資料：都市計画基礎調査

### (5) 産業

#### 農林業や製造業の就業者が減少し、第三次産業就業者が増加している

・平成 17 (2005) 年から 10 年間の産業別就業者数は、第一次産業（農林業）が 156 人（27.0%）、第二次産業（製造業）が 344 人（4.6%）減少する一方、サービス業などの第三次産業が 904 人（7.7%）増加し、就業者総数の約 6 割を占めています。

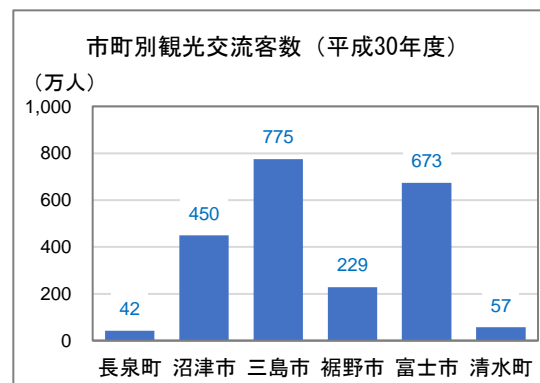


資料：平成 29 年度行政資料集

### (6) 観光・交流

#### 観光交流客は周辺市町よりも少ない

・観光交流客は、周辺市町と比べ少ないです。  
・緑地に関する観光資源として、駿河平自然公園、鮎壺の滝、割狐塚稲荷神社、ゴルフ場等が挙げられます。



資料：静岡県観光交流の動向



## 2-3 上位・関連計画にみるまちづくりの方向性

良好な都市生活の確保に寄与するよう、緑の基本計画は、長泉町総合計画に即し、東駿河湾広域都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針や長泉町都市計画マスタープランに適合するとともに、環境基本計画や景観計画等との調和が保たれるよう策定します。

### ①第4次長泉町総合計画・基本構想 [平成28(2016)～令和2(2020)年度]

今後のまちづくりの指針として、将来都市像「自然と都市の共生 人とまちの健康創出 いきいき長泉」及びその実現を図るための基本施策などを示しています。

#### 【土地利用の基本的な考え方】

- 安全性を最優先した土地利用
- 持続的発展の可能性を重視した土地利用
- ゆとりや美しさの向上を重視した土地利用

#### 【後期基本計画】(緑に関わるもの)

##### ● 重点プロジェクト

##### ■ 鮎壺公園の整備

子どもから高齢者まで、幅広い世代が一緒に集う憩いの場として、レクリエーション需要に対応した、近隣公園を整備します。

##### ■ インフラ総合管理事業の推進

道路・公園・上下水道等のインフラの効率的な維持管理や適切な保有に向けて、インフラ総合管理計画を策定し、インフラマネジメントを推進します。

##### ■ 民間の力による魅力ある公共施設運営

桃沢地区の公共施設や健康公園については、効率的な管理と民間のノウハウを十分に活用した企画運営を導入し、魅力ある公共施設運営を図ります。

##### ● 都市整備分野

施策：公園広場の整備と緑化を推進する

基本方針：住民が気軽に憩うことができる身近な公園広場の整備を推進するとともに、地域や住民の協力を得ながら、安全で美しい公園広場の維持管理を進めます。また、市街地内の貴重な緑地の保全や公共施設等の緑化を推進し、緑豊かな潤いを感じるまちの形成を図ります。

### ②長泉町環境基本計画・後期計画 [平成29(2017)～令和3(2021)年度]

望ましい環境像「みんなを元気にする 水と緑のふるさと ながいずみ～いつまでも住み続けたい eまちをめざして～」の実現を目指し、5つの環境目標の下に16の行動方針を定めています。

(緑とオープンスペースに関わる行動方針及び施策)

- 行動方針5 自然とふれあう
- 行動方針6 公園や緑をふやす
- 行動方針7 きれいな風景や歴史をのこす



③東駿河湾広域都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 [平成 29 年 3 月策定]

将来都市像を「水と緑とともに、安全で快適に暮らせる、活力あふれる健康交流都市圏」とし、都市づくりの基本理念を次のように設定しています。

また、自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針が定められています。

(4) 自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

2) 主要な緑地の配置の方針 (長泉町に関連する部分を抜粋)

① 環境保全システムの配置の方針

愛鷹山麓の山地及び丘陵地、黄瀬川、桃沢川等の河川は、都市の骨格を形成する自然の緑地として位置づけ、保全する。市街地では、各駅前広場周辺の緑化、街路樹、緩衝緑地、緑道、公共施設の緑化、住区基幹公園、社寺の境内地、民有地の緑化等を住民生活に関連した緑地として位置づけ、保全する。

② レクリエーションシステムの配置の方針

駿河平自然公園、水と緑の杜公園、桃沢川等は、自然観察や野外レクリエーション機能を主体とした野外活動の拠点として配置する。長泉町健康公園、鮎壺公園等は地域住民のレクリエーション需要に対応した公園として配置する。住民の日常のレクリエーション活動に対応し、地域に密着した誰もが快適に利用できる機能を有した公園緑地の整備を推進するため、歩いて行ける範囲内に身近な公園緑地を配置する。また、市街地内の既存公園緑地の整備、オープンスペース、ポケットパーク、水辺空間の親水性確保及びこれら施設等を結ぶネットワークの形成を図る。

③ 防災システムの配置の方針

土砂災害警戒区域、砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域、その他土砂災害の危険性がある地域及び市街地内に存する溢水、冠水等の危険がある地域は緑地として保全を図ることで、土砂災害等の自然災害を未然に防止する。主として、防災計画の一環として、地震等大規模災害時における安全性の確保を図るため、火災の延焼防止や避難地及び避難路の確保のための緑地を配置し、避難のネットワークが図られるよう計画する。震災時等に住民の生活の拠り所となる身近な防災拠点として歩いて行ける範囲に身近な公園の配置を推進する。騒音、振動等の発生源となる工場周辺、主要幹線道路沿い、東海道新幹線沿いには、これらを緩和するために、工場緑化の推進、街路樹等の緩衝緑地の整備を図る。

④ 景観構成システムの配置の方針

愛鷹山麓等の斜面緑地、黄瀬川等の河川の緑地の保全を図り、都市の骨格を形成する景観を保全する。長泉町では駿河平自然公園、水と緑の杜公園、鮎壺公園等を積極的に生かし、都市のシンボルとなる景観を形成する。街路、学校等の公共施設、駅前、民有地等の緑化等を図り、日常生活における身の回りの緑地として保全する。また、景観法に基づく景観計画等により、良好な景観の保全・活用・創出を図る。

4) 主要な緑地の確保目標

① 優先的に基準年次 (平成 22 年) からおおむね 10 年以内に整備予定の主要な公園緑地等

(長泉町のみ)

種別	名称
街区公園	○南一色広場 ○納米里広場 ○鮎壺広場 ○中土狩第2広場 ○元長窪広場
近隣公園	○鮎壺公園
総合公園	○長泉町健康公園
緑地	○鮎壺の滝緑地

(注) 公園緑地等については、10年以内に着手するものから、部分・暫定完成、完成するもの全てを含む。



④第2次長泉町都市計画マスタープラン・第2次改定版

[平成30(2018)～令和17(2035)年]

これからの都市づくりを計画的に推進するため、都市の将来像を示すとともに、土地利用の規制・誘導、道路や公園の整備などの分野ごとの個別指針を定めています。

● まちの拠点に関する方針

[自然・文化ふれあい拠点]

- ・駿河平自然公園周辺は、自然環境と調和のとれた良好な都市環境を維持する。
- ・水と緑の杜公園周辺は、魅力ある環境を維持し、周辺施設との連携・交流に努める。

[産業集積拠点]

- ・県立静岡がんセンター周辺は、医療・健康関連企業の誘致や研究開発機能等の集積を図る。
- ・新東名高速道路長泉沼津IC周辺は適正な土地利用を誘導する。

[沿道拠点]

- ・池田柵線沿道は、商業機能や住民サービス機能の充実、利便性の高い公共交通の確保を図る。

[健康づくり拠点]

- ・長泉町健康公園周辺では、住民の健康づくりを様々な面から総合的に支援する環境を整える。

[にぎわい交流拠点]

- ・鉄道駅周辺は、交通結節点として快適性・利便性を高めるとともに、商業・業務機能の充実、玄関口や文化活動の拠点として魅力ある環境づくりを進め、交流やにぎわいの創出を図る。

(緑とオープンスペースに関わる個別方針)

● 公園・緑地等に関する方針

- ・身近な公園の整備、活用。町のシンボルとなる公園の整備、活用。
- ・まちなかの緑地の保全、活用。協働による公園・緑地の維持管理。
- ・住宅や工場の緑化。公共公益施設等の緑化。水と緑のネットワークの形成。

● 地域資源に関する方針

- ・緑と水が織りなす豊かな自然の保全。地域資源を活かしたまちづくりの展開。

● 防災に関する方針

- ・災害に強い市街地の形成（公園の確保等）。避難路の確保、整備（沿道建物の生垣化等）。
- ・水害、土砂災害の防止（森林・農地を適切に管理等）。

⑤長泉町景観計画

「富士山と愛鷹山を望み、魅力と活力のある美しいまち」を目指し、構造別の景観形成の方針を示すとともに、要素別の景観形成の方針を定めています。

- 活力や交流を生む質の高い街並み景観を形成する
- 公共施設の整備によって都市の景観を向上する
- 富士山、愛鷹山、黄瀬川などの自然の景観を保全する
- 文化の積み重ねを感じられる景観を大切にする





## 2-4 緑地の現況

### (1) 緑地の状況

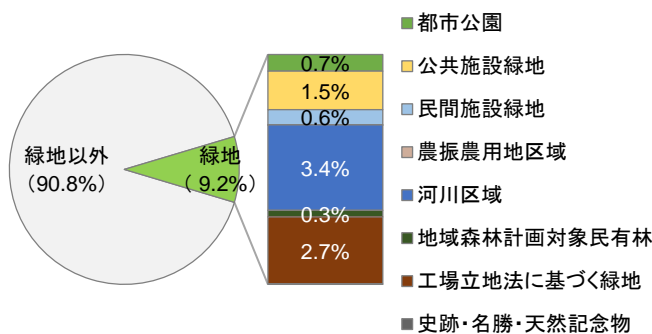
市街化区域内では河川区域が、市街化調整区域では樹林地が緑地の多くを占める

- ・本町の緑地は、都市計画区域内に 1,191.01 ha（緑地率 56.05%）、市街化区域に 72.63ha（緑地率 9.24%）あります。
- ・市街化区域では、河川区域が緑地の約 4 割を占めています。
- ・市街化調整区域では、地域森林計画対象民有林に指定されている樹林地が緑地の約 6 割を占めるほか、ゴルフ場等の民間施設緑地や農振農用地区域も一定割合を占めています。

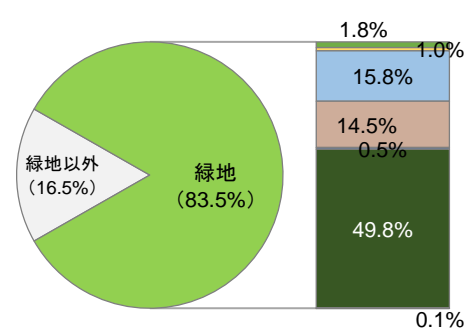
表 緑地現況量（平成 30 年 3 月末）（単位：ha）

		市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域
施設緑地	都市公園	5.56	24.09	29.65
	公共施設緑地	12.18	13.69	25.87
	その他公園	1.64	12.91	14.55
	屋外レク施設（公共）	9.80	0.66	10.46
	幼稚園等園庭（公共）	0.74	0.12	0.86
	民間施設緑地	6.63	211.78	218.41
	施設緑地間の重複	2.13	0.29	2.42
	合計	22.24	249.26	271.50
地域制緑地	農振農用地区域	0.00	194.30	194.30
	河川区域	27.00	7.20	34.20
	地域森林計画対象民有林	2.08	666.90	668.98
	工場立地法に基づく緑地	21.21	0.72	21.93
	史跡・名勝・天然記念物	0.10	0.00	0.10
	合計	50.39	869.1	919.51
緑地総計		72.63	1,118.38	1,191.01
緑地率（%）		9.24%	83.50%	56.05%
市街化区域等面積		785.6	1,339.4	2,125.0

市街化区域の緑地等の構成比



市街化調整区域の緑地等の構成比



※緑地間で重複する区域があることから、各緑地の面積と合計は必ずしも一致しない。

※地域森林計画対象民有林とは国有林以外の森林のことで、個人や法人の私有林のほか、県や市町の公有林も含まれる。

資料：長泉町公園一覧表（平成 30 年 3 月末日）、都市計画基礎調査



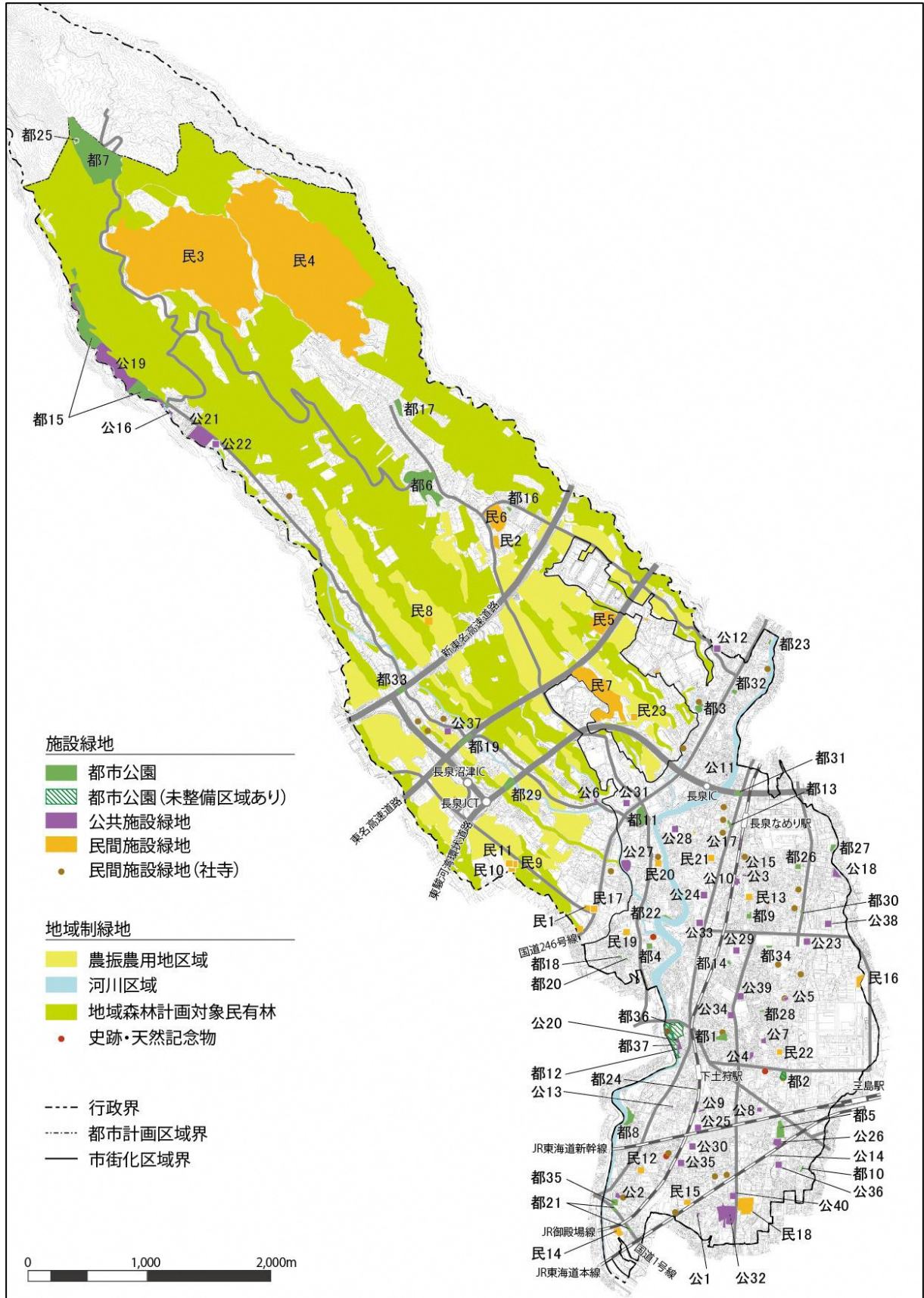


図 緑地現況図





## (2) 施設緑地の整備、管理の状況

### ① 都市公園

#### ア. 都市公園の箇所、面積

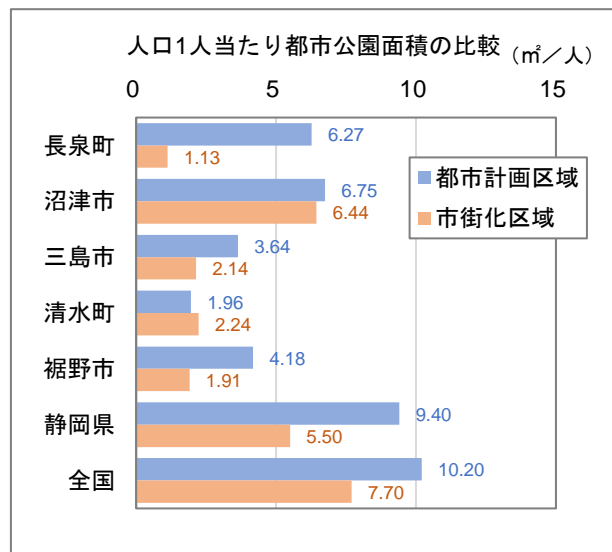
#### 人口1人あたり都市公園面積は、市街化区域を中心に低い水準である

- ・平成30(2018)年現在、都市計画区域における既開設の都市公園は35箇所、29.65haあり、人口1人あたりの都市公園面積は6.87㎡/人となっています。
- ・人口1人あたりの都市公園面積は、周辺市町や県平均、全国平均と比べて低い水準となっています。特に、市街化区域には規模の大きな都市公園が少なく、1人あたり面積が少ない傾向にあります。

表 都市公園の整備量

種別	箇所	面積 (ha)	1人あたり面積 (㎡/人)
街区公園	34	29.32	6.79
近隣公園	—	—	—
地区公園	—	—	—
都市緑地	1	0.33	0.08
都市公園 計	35	29.65	6.87
都市計画区域内人口	43,184 人		

資料：長泉町公園一覧表（平成30年3月末日）

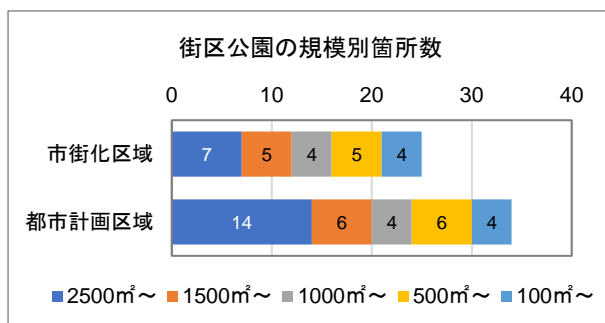


※静岡県には政令市（静岡市・浜松市）を含まない  
出典：平成27年度末 都市公園整備水準調査

#### イ. 街区公園の規模、配置

#### 街区公園は比較的小規模なものが多く、市街地内に誘致圏空白域が残る

- ・最も身近な都市公園である街区公園は、町内に34箇所ありますが、条例で定める標準面積（2,500㎡以上）を有する公園は14箇所、街区公園全体の4割となっています。
- ・街区公園の配置状況を見ると、街区公園の誘致圏（250m）に含まれない市街地が残されています。



資料：長泉町公園一覧表（平成30年3月末日）

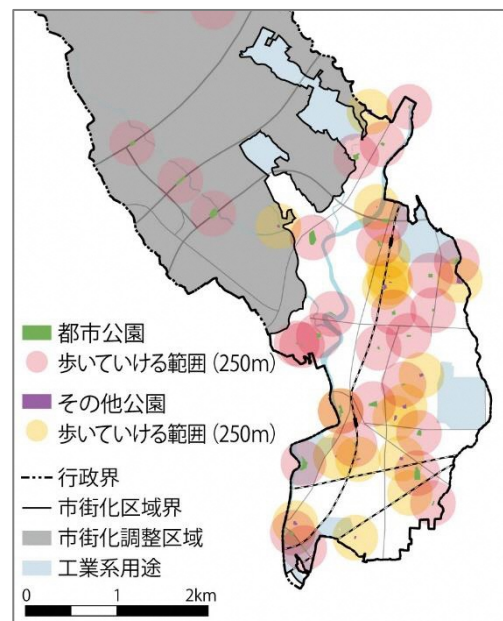


図 街区公園の配置と誘致圏



ウ. 借地公園の状況

都市公園の約 1/3 は、借地を活用して整備されている

- ・ 35 箇所の都市公園のうち 13 箇所は、土地所有者の協力により土地を無償で貸借し、公園を整備しており、借地期間は 5 年又は 10 年となっています。
- ・ 借地公園のうち、寺社の境内や隣接地に開設された公園は、古くから地域の公園的機能を担ってきたものと考えられ、今後も土地の変化に伴う公園の廃止は起こりにくいと考えられます。一方、独立して開設されている公園は、契約期間の終了に伴い廃止される可能性もあります。

借地公園一覧

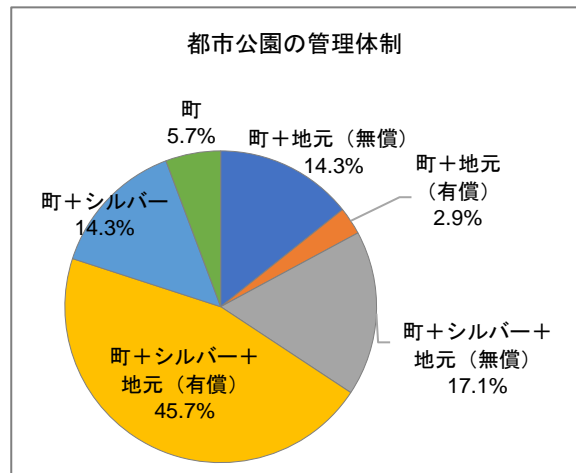
種類	公園名	面積 (ha)
都市計画公園	駅前公園	0.28
	東村公園	0.20
	尾尻公園	0.25
都市公園	長泉町森林公園	12.90
	杉原公園	0.08
	城山神社公園	0.78
	上長窪コミュニティ広場	0.32
	本宿南児童公園	0.18
	よろいがふち公園	0.08
	池の平展望公園	0.29
	上長窪広場	0.59
	納米里広場	0.25
元長窪広場	0.23	

資料：長泉町公園一覧表（平成 30 年 3 月末日）

エ. 管理体制

大半の都市公園において、地元と協働で管理を行っている

- ・ 自治会などの地元と管理を行っている都市公園が約 8 割（28 箇所）を占め、うち 17 箇所まで有償ボランティアを活用しています。
- ・ 今後の高齢化を見据えて、地元との管理体制の見直し、公園管理の担い手として高齢者の参画を検討する必要があります。



※「シルバー」は長泉町シルバー人材センターの略  
資料：長泉町公園一覧表（平成 30 年 3 月末日）

オ. 観光交流への活用

都市公園を会場としたイベント等が開催されている

- ・ 駿河平自然公園での「さくらフェスタ in 長泉」、水と緑の杜公園での「水と緑の杜公園☆ワンデーチャレンジ」といった、自然豊かな公園を会場としたイベントが開催されています。



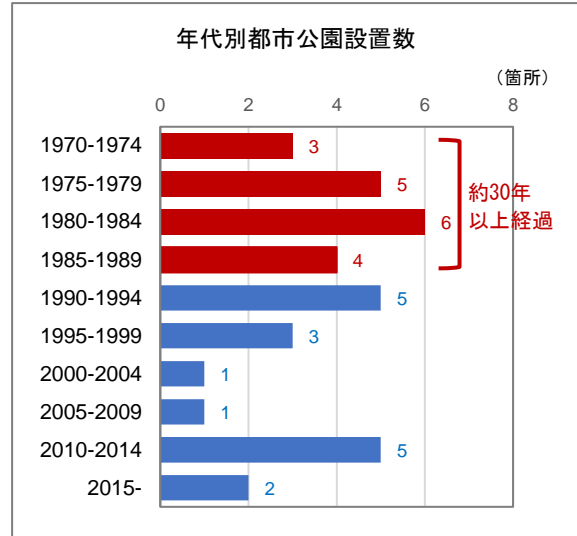
さくらフェスタ in 長泉



カ. 公園施設の老朽化

**都市公園の約半数は、設置後 30 年以上経過している**

- ・設置から約 30 年以上経過した都市公園が 18 箇所あり、都市公園全体の約半数を占めています。
- ・都市公園を安全で快適に利用できるように維持していくために、遊具などの公園施設の補修や更新、樹木の剪定、バリアフリー化などを効率的に行っていく必要があります。



資料：長泉町公園一覧表（平成 30 年 3 月末日）

キ. 都市計画公園の整備状況

**長期未整備の都市計画公園が存在する**

- ・都市計画法に基づき、都市計画決定がなされている公園、緑地について、都市計画決定後 20 年以上経過しているものの未整備区域がある公園が 3 箇所、2.56ha あり、現在開設している都市公園面積の約 9% に該当します。
- ・これらの場所では、都市計画を定めてから年月が経つ間に、周辺の地域の状況や公園へのニーズが変化していることが考えられます。

表 長期未整備となっている都市計画公園

種類	名称	都市計画決定年	計画決定 (ha)	供用状況 (ha)	未整備区域 (ha)
街区公園	東村公園	昭和 48 (1973) 年	0.29	0.20	0.09
近隣公園	鮎壺公園	平成 2 (1990) 年	1.30	-	1.30
都市緑地	鮎壺の滝緑地	平成 2 (1990) 年	1.50 (陸域：0.4ha)	0.33	1.17

資料：長泉町公園一覧表（平成 30 年 3 月末日）



## ②公共施設緑地

### ア. 児童公園などその他の公園

- ・児童福祉法に基づき設置された公園、開発行為により設置される公園など、都市公園以外の公園として20箇所、15.55haが整備されています。
- ・これらの公園は、子どもの遊び場となる街区公園の不足を補ったり、地域の交流に寄与したりしています。

### イ. 屋外レクリエーション施設（公共）

- ・公園以外の屋外レクリエーション施設として、一時開放している小中学校の運動場、各グラウンド、桃沢キャンプ場などが挙げられます。
- ・これらの施設は、町民の健康増進や自然とのふれあい、レクリエーション等に活用されています。
- ・管理・運営にあたっては、指定管理者制度等の民間活力の活用が進んでいます。



竹原グラウンド

### ウ. 幼稚園等園庭（公共）

- ・公立の幼稚園や保育園等の園庭は、休日に子どもの遊び場として開放されており、なかには地域のお祭りの会場として利用されているところもあります。



南幼稚園園庭

## ③民間施設緑地

### ア. 屋外レクリエーション施設（民営）

- ・民営の屋外レクリエーション施設として、町北部にゴルフ場や植物園などがあり、スポーツや自然学習の場となっています。

### イ. 市民農園

- ・市街化調整区域の長泉ファミリー農園、市街化区域の上土狩ニコニコ農園など、農地所有者によって市民農園が開設され、住民のレクリエーション、高齢者の生きがいづくり等に活用されています。

### ウ. その他

- ・私立高校の運動場、企業の屋外の体育施設、民間の幼稚園や保育園等の園庭、社寺境内地などが民間施設緑地として挙げられます。



### (3) 地域制緑地の確保の状況

#### ①法によるもの

##### ア. 河川区域

- ・河川法による河川区域は、黄瀬川、大場川、桃沢川、梅の木沢川、谷津川、藤生川の 34.20ha が指定されています。
- ・これらの河川では、国、県、町の連携により保全及び必要に応じた整備が行われています。



桃沢川

##### イ. 地域森林計画対象民有林

- ・地域森林計画対象民有林は、668.98ha が指定されています。
- ・これらの森林は、水源の涵養、良好な森林景観の形成などの多面的機能の発揮のため、適切な森林の整備や保全が図られています。



森林

##### ウ. 農業振興地域・農用地区域

- ・東野地区や元長窪地区に広がる一団の優良な農地は、農業振興地域・農用地区域に指定されています。
- ・農業振興地域・農用地区域は、農業の生産拠点、北部山間地の自然と市街地との緩衝帯として保全されています。



農地

##### エ. 工場立地法に基づく緑地

- ・工場立地法に基づき、16 の工場に 21.88ha (令和元年 11 月現在) の緑地が確保されています。
- ・これらの緑地は、周辺部との緩衝帯としての役割を果たします。

#### ②条例によるもの

- ・条例によるものとして、市街化区域で「下土狩のイチョウ」と「鮎壺の滝」が静岡県文化財保護条例に基づく天然記念物に指定されています。
- ・麦原塚古墳、一柳直末公首塚が町文化財保護条例に基づく史跡に指定され、文化財と一体となった緑地が管理されています。



出典：静岡県文化政策課  
下土狩のイチョウ



鮎壺の滝



## 2-5 緑化の状況

### (1) 公共施設の緑化

#### ① 道路の緑化

##### ア. 街路樹

- ・ハナミズキなどの街路樹の植栽によって、潤いのある道路空間や身近に四季を感じられる生活空間が形成されています。
- ・特に、駿河平のイチョウ並木（町道下長窪駿河平線）、桜堤遊歩道のサクラ並木は町のシンボルにもなっています。



駿河平のイチョウ並木



桜堤遊歩道のサクラ並木

##### イ. ポケットパーク

- ・道路の交差点や橋詰の周辺などにまちなかの緑化や休憩施設として、ポケットパークが設置されています。



ポケットパーク

##### ウ. 花による緑化

- ・下土狩駅前の大いちょう通りでは、歩道照明灯のハンギングバスケットなどにより、町の玄関口や商業地が花で飾られています。
- ・また、県立静岡がんセンター周辺など、道路の植樹帯や植樹柵における住民との協働による花壇づくりも進められています。



ハンギングバスケット



道路における花壇づくり



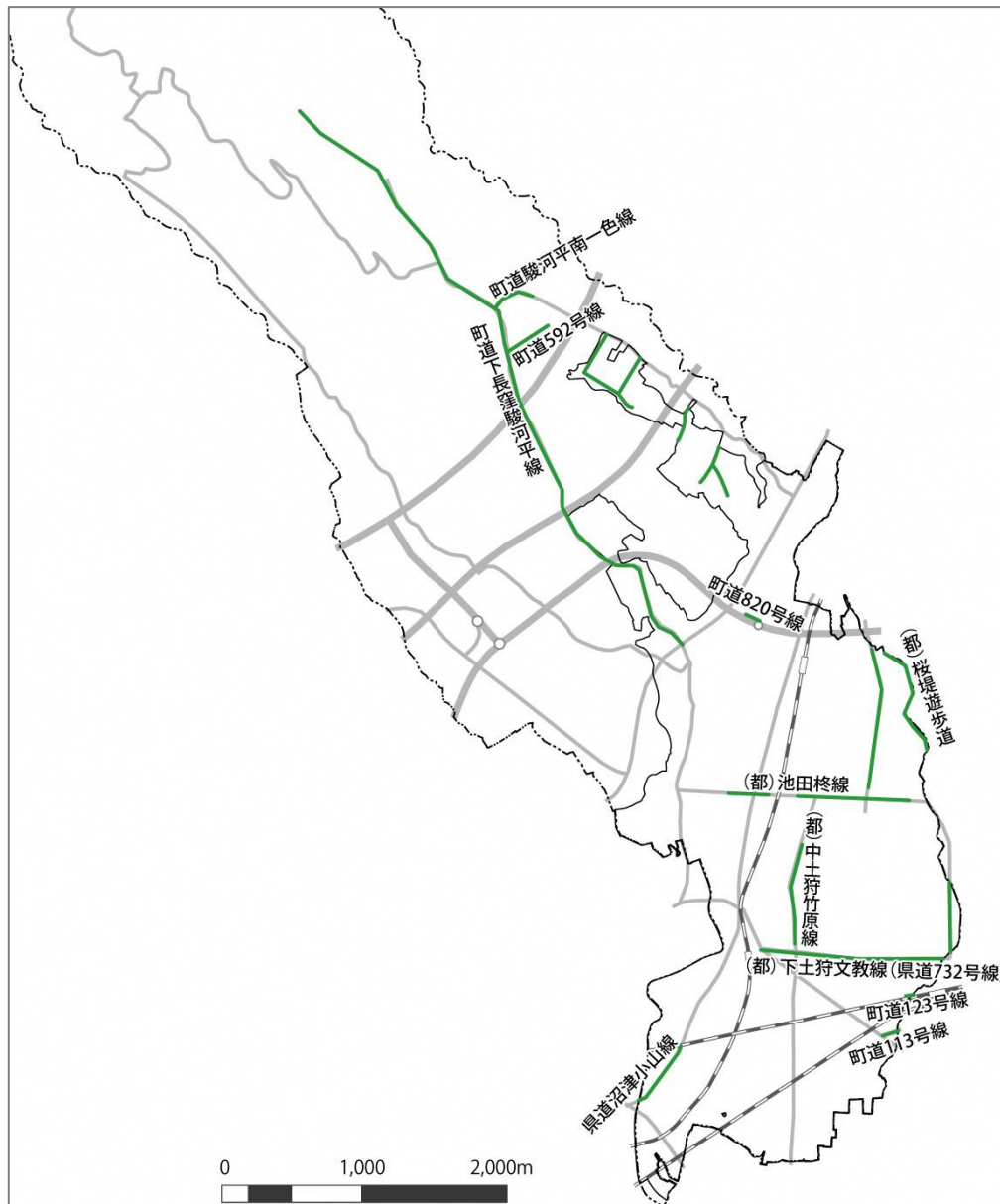


図 道路の緑化状況

## ② その他の公共施設の緑化

- ・大規模な公共施設（敷地面積 10,000 m<sup>2</sup>超）は、敷地面積の 25%以上で緑化されているものが多い状況です。一方で、緑化率が 10%に満たない公共施設もあり、施設ごとに緑化状況に差があります。
- ・学校、幼稚園、保育園等は、グラウンドなどのオープンスペースを広く確保するため、緑化率は低めですが、児童・生徒によるプランター緑化のほか、校庭に樹林地や茶畑を有している事例、周辺の農地を体験農業の場として利用する例もあります。



町立北小学校



## （２）緑化に関する施策

### ①緑化に関する計画など

#### ア．土地利用事業指導

- ・本町では、大規模な土地利用事業の施行に関する要綱において緑地の確保等に関する基準を定め、周辺の良い自然や生活環境を確保し、調和のとれた住みよい町づくりを進めています。

<長泉町土地利用事業指導要綱 別表（「一般基準」の抜粋）>

- ・施行区域面積の6%以上の公園、緑地、広場等が適切に配置されていること。
- ・工場、倉庫等、研修・研究施設、教育施設、文化施設等の設計にあたって緑地を敷地周囲に配置する等自然環境に配慮すること。

#### イ．工場緑化の推進

- ・工場立地法に基づき、工業団地での緑化の推進、工業系の土地利用における緑地の確保を進めています。

#### ウ．地区計画

- ・南一色地区、駿河平地区、県立静岡がんセンター周辺地区では、地区計画によって道路に面する部分へ生垣が設置され、周辺環境との調和が図られています。

#### エ．景観計画

- ・大規模な建築行為の際に、景観計画に基づき、公共空間から見える場所の緑化、生垣の設置等を誘導し、良好な景観形成を図っています。

### ②普及活動

#### ア．花のまちづくり

- ・花壇コンクールを開催しており、その参加件数は、平成26（2014）年以降、毎年10件前後で推移し、新規の方の応募が少なくなっている状況です。
- ・希望する団体や公共施設へ花苗を配布し、公共の場所や地区の公民館などで花の手入れを行ってもらっているほか、産業祭の際に来場者に緑の普及活動への協力を求めるとともに、花苗を配布しています。

#### イ．緑のカーテン

- ・家庭や事業所の緑化推進、地球温暖化対策としてゴーヤの苗を配布し、緑のカーテンを普及しています。



ゴーヤ苗の配布



### (3) 緑化に関する町民・企業の活動

#### ① 町民のボランティア活動

- ・長泉町花の会は、(公財)静岡県グリーンバンクの支援を受け、草花の種播き、苗の植替え、花壇の手入れ等のイベントを適時開催しています。

#### ② 企業のCSR活動

- ・富士長泉工業団地では、団地内の公園や街路樹などを各企業で管理しているほか、各企業と町とで緑化に係る協定書を結んでいます。
- ・特種東海製紙(株)の社有林が東野にあり、「タケノコの採れる竹林」「明るい雑木林」「ヒノキの混交林」の3種類の森林を目標に、人の手によって魅力ある森づくりが進められています。

### (4) 幼稚園・保育園等や小中学校における緑の活動

- ・町内の多くの幼稚園・保育園・こども園や小中学校では、花壇の植え付けや維持管理、農作物等の栽培を行っています。栽培される農作物は、イモ類や野菜が多く、収穫したものを食して楽しむ園や学校も見られます。
- ・小学校では、生活科や理科の授業を通じた植物栽培等も行われています。
- ・また、一部の小学校では、桃沢地区の森林を活用した学習等も行われています。
- ・中学校では、生徒会活動等で一部の生徒が花壇の管理等を行うのみで、生徒全員で緑に関する活動をする機会が少なくなっています。
- ・それぞれの園や学校では、職員等の栽培ノウハウの習得や子どもたちが安全に通うことのできる農地等の確保、指導者の高齢化、長期休業中の植物の管理等の課題を抱えています。



園児による田植え



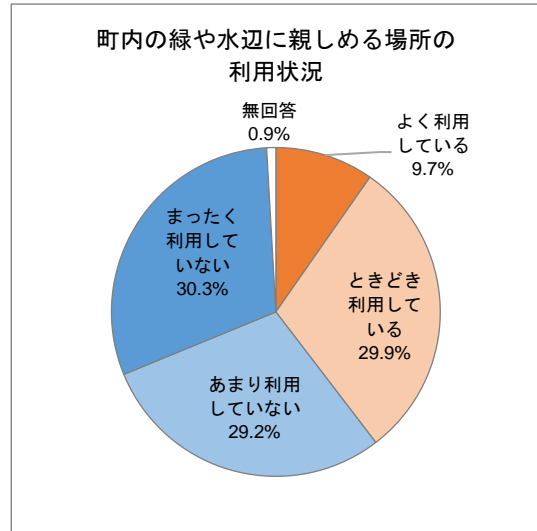
## 2-6 緑に関する住民意向

### (1) 既存の緑に関する意見

#### ① 町内の緑や水辺に親しめる場所の利用状況

利用している住民は、  
半数以下にとどまっている

- 公園や川沿いの遊歩道など、町内の緑や水辺に親しめる場所の利用状況を見ると、『利用している』（「よく利用している」+「ときどき利用している」）は39.6%、『利用していない』（「あまり利用していない」+「まったく利用していない」）は59.5%となっています。

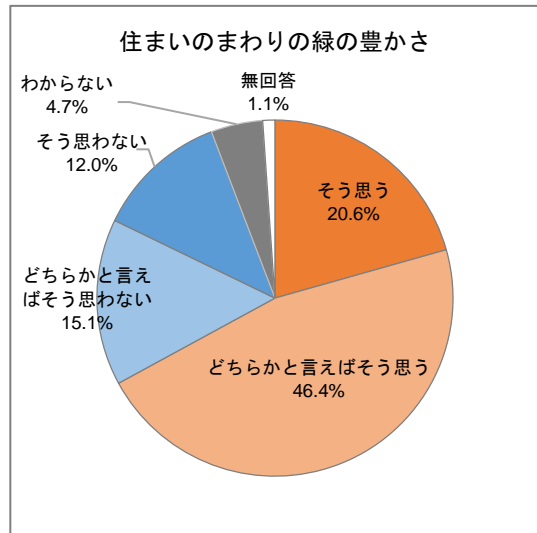


資料：平成30年度長泉町住民意識調査報告

#### ② 住まいのまわりの緑の豊かさ

肯定的意見が約7割を占めるが、約1/4の住民は緑の豊かさを実感していない

- 「森林や川、農地、公園、街路樹や花壇、庭や店先の花や緑など、あなたの住まいのまわりが『緑豊か』だと思うか？」は、肯定的回答（「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」）は67.0%を占めています。

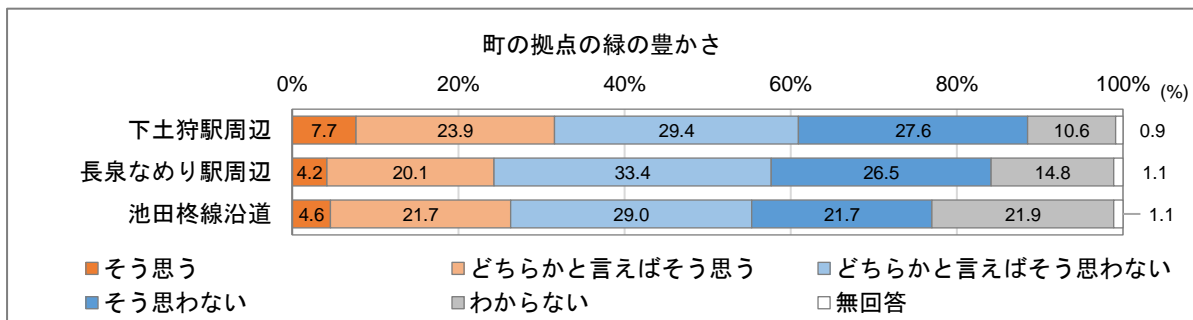


資料：平成30年度長泉町住民意識調査報告

#### ③ 町の拠点の緑の豊かさ

各拠点とも否定的回答が多く、特に長泉なめり駅周辺は評価が低い

- 「下土狩駅周辺、長泉なめり駅周辺、池田柵線沿道が『緑豊か』だと思うか？」は、いずれの拠点においても否定的回答（「そう思わない」+「どちらかと言えばそう思わない」）が過半数を占めています。
- 特に、長泉なめり駅周辺では、約60%を否定的回答が占めています。



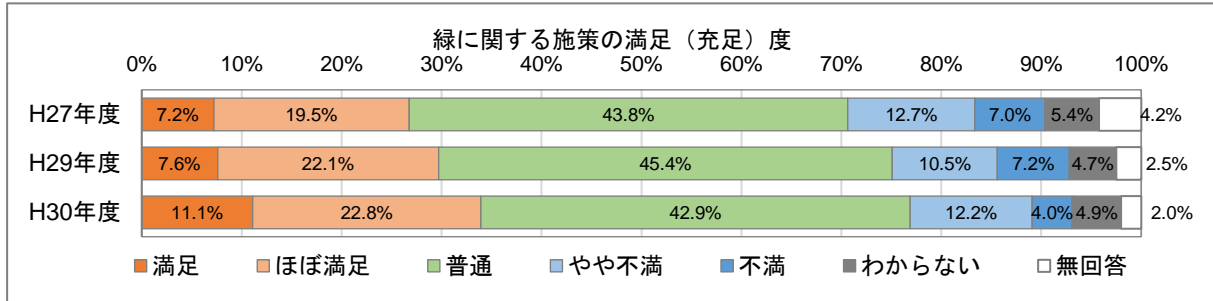
資料：平成30年度長泉町住民意識調査報告



④緑に関する施策の満足（充足）度

町民の満足度は、増加傾向にある

- ・公園広場の整備と緑化の推進についての満足状況を見ると、『満足』（「満足」＋「ほぼ満足」）は33.9%となっており、3年前と比べて約7%向上しています。



資料：平成30年度長泉町住民意識調査報告

⑤緑に関する自由意見

緑の減少に対する懸念や子どもが楽しめる公園の充実を求める声がある

- ・自然・緑地に関し、マンションや道路が建設されることで、田畑や自然が少なくなっていることを憂慮する声が一部の住民から寄せられています。
- ・公園・広場に関しては、子どもが安心して遊べる公園の整備や、遊具などの充実が一部の住民から望まれています。

⑥将来に残したい環境・場所

鮎壺の滝、駿河平自然公園、森林公園、イチョウ並木などが挙がっている

- ・将来に残したい環境として「公園・緑地・街路樹」が80.4%の方に選ばれています。
- ・具体的な場所として「鮎壺の滝」、「駿河平自然公園」、「長泉町森林公園」、「水と緑の杜公園」、「駿河平のイチョウ並木」、「池の平展望公園」などが挙げられています。

⑦行政に期待されている緑に係る施策

「公園の整備・緑化の推進」が期待されている

- ・行政に期待する環境施策として「水資源や河川の保全・管理」に次いで、「公園の整備・緑化の推進」が挙げられています。

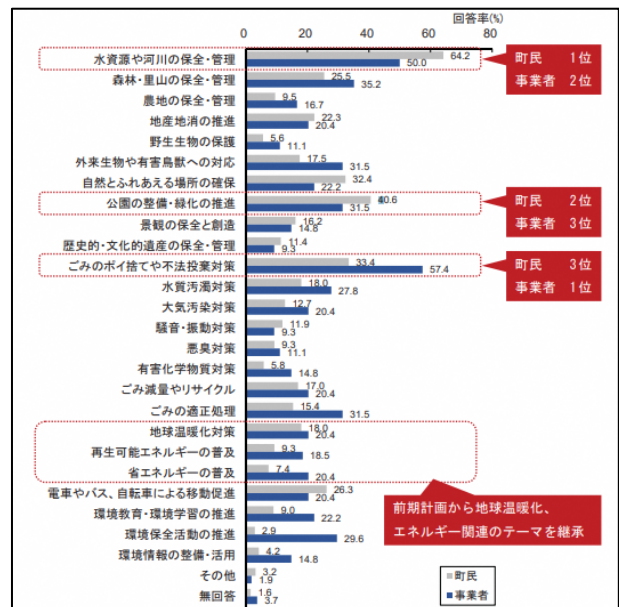


図. 行政に期待されている環境施策

資料：平成28年度環境基本計画（後期）のアンケート結果



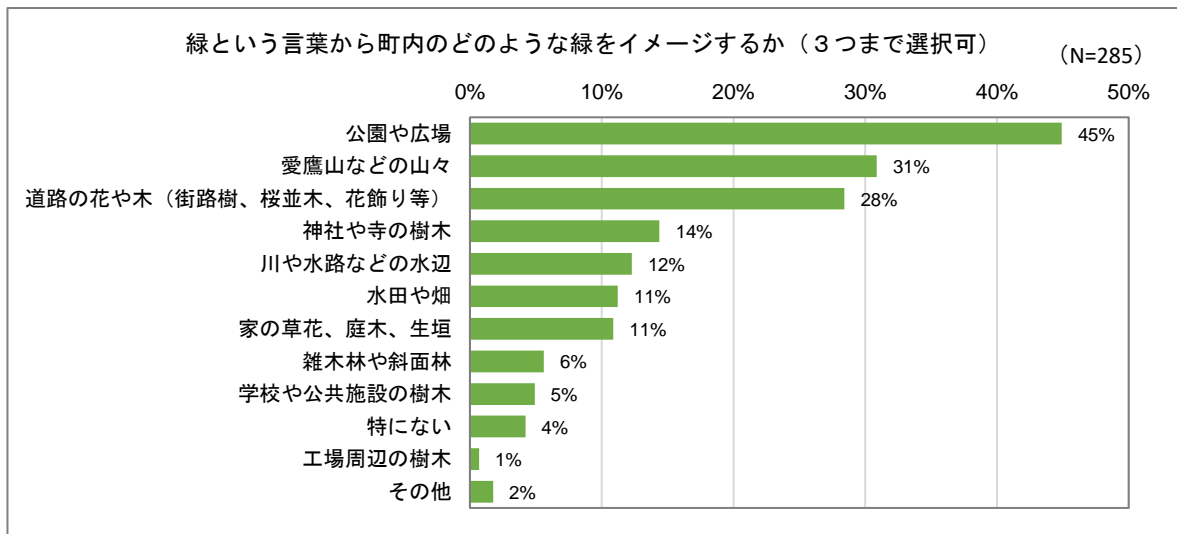
## (2) 今後の公園や緑に関する町民の意向

公園と緑に対する町民の意向を把握するためにアンケート調査を実施しました。アンケート調査は、平成 30 (2018) 年 10 月に町内の主要な 7 公園の利用者を対象に行い、615 人 (うち町民は 285 人) の回答が得られました。

### ①長泉町の緑の印象

#### 本町の緑として、公園や広場、愛鷹山などの山々などが挙げられている

- ・町内の緑を訊ねる設問への回答は、「公園や広場」が 45%と最も多く、次いで「愛鷹山などの山々」が 31%、「道路の花や木」が 28%と比較的多く回答しています。
- ・緑豊かなまちを目指していくにあたって、これらの緑の維持、創出が必要です。

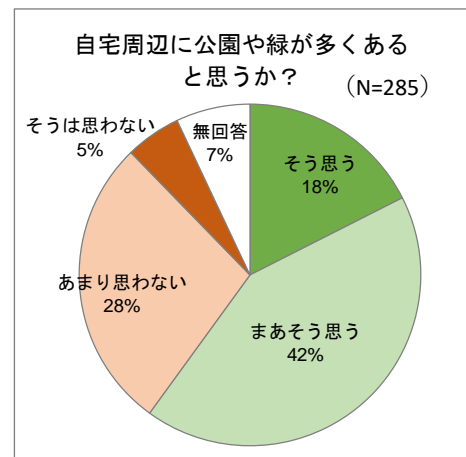


資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書

### ②身近な緑の印象

#### 身近に緑を感じている人が多いが、そうでない人も一定数いる

- ・「自宅周辺に公園や緑が多くあると思うか」という問いに対して、約 60%の人が「そう思う」「まあそう思う」と回答しています。
- ・一方で、約 30%の方が否定的な回答となっており、改善が求められます。



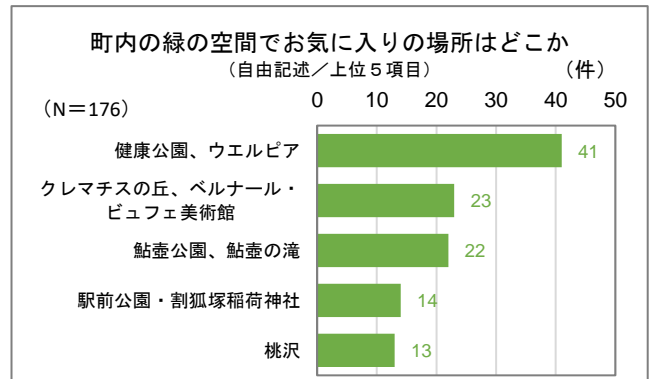
資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書



③町民に特に好まれている緑

健康公園やクレマチスの丘などが上位に挙がっている

- ・「健康公園、ウエルピア」41件、「クレマチスの丘、ベルナル・ビュフェ美術館」23件、「鮎壺公園、鮎壺の滝」22件と比較的多くの回答が見られました。
- ・町民に親しまれているこれらの空間は、長泉らしい緑、町民の誇りとなる緑として今後も保全、活用していく必要があります。

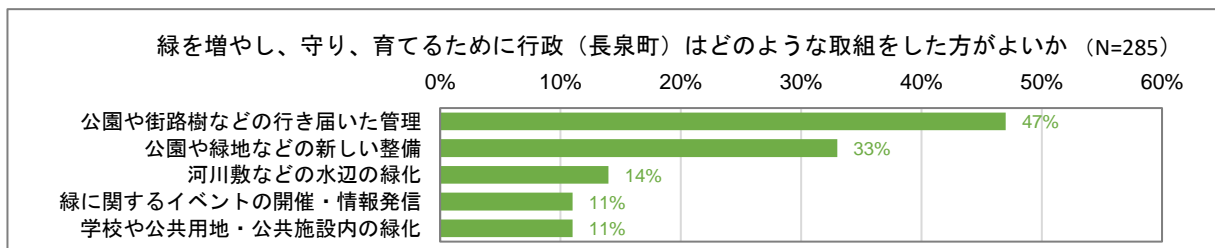


④緑の確保のために行政が取り組むべきこと

資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書

「公園や街路樹等の管理」や「公園・緑地の新たな整備」を求める声が多い

- ・「公園や街路樹などの行き届いた管理」が47%と最も多く、次いで「公園や緑地などの新しい整備」が33%と比較的多く回答されています。
- ・緑豊かなまちを印象づけている公園や道路の緑の適切な管理と計画的な公園の整備が求められていると考えられます。



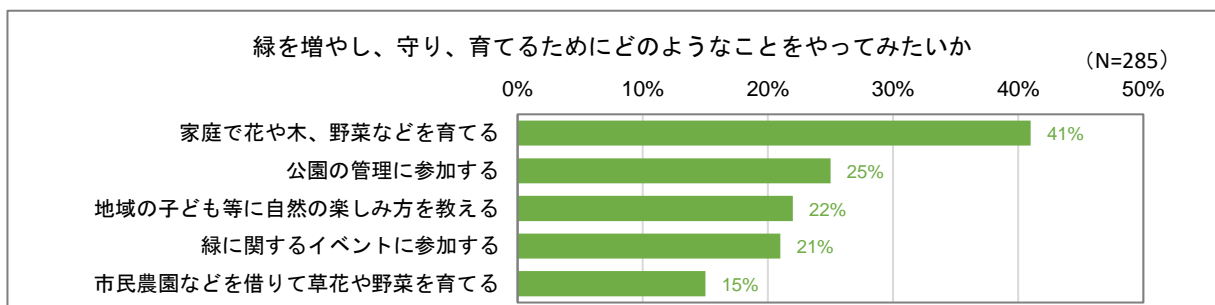
※3つまで選択可、上位5項目

資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書

⑤緑の確保のために町民がやってみたいこと

家庭における緑化、公園管理への協力等が上位となっている

- ・「家庭で花や木、野菜などを育てる」が41%と最も多く、次いで「公園の管理に参加する」が25%と比較的多く回答されています。
- ・この結果から、緑の維持・創出に関心のある町民が多いことが伺うことができます。



※3つまで選択可、上位5項目

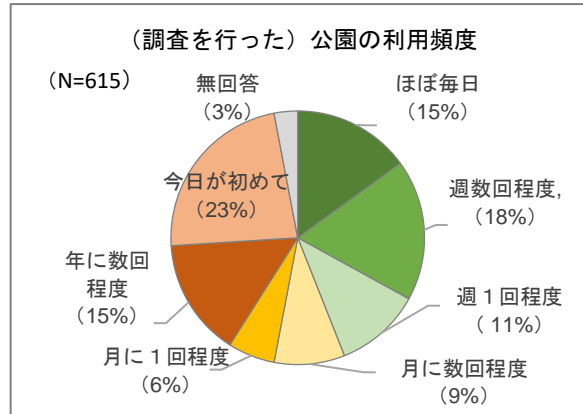
資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書



⑥公園の利用頻度

全体的に利用頻度は低い傾向

- ・「年に数回程度」が15%、「今日が初めて」が23%となっており、ほとんど利用しないという回答が4割あります。
- ・回答者には町民以外も含まれますが、整備してきた公園のさらなる利用を促していく必要があります。

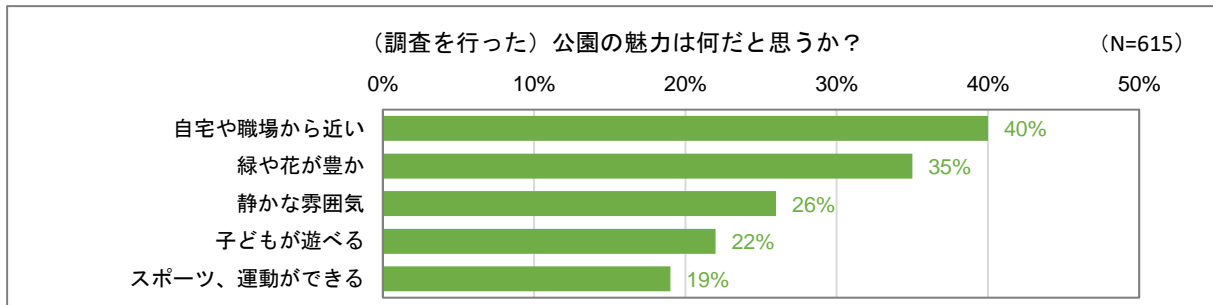


資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書

⑦公園の魅力

身近に公園があることや緑豊かであることが評価されている

- ・「自宅や職場から近い」(40%)や「緑や花が豊か」(35%)などが上位となっています。
- ・身近に公園があること、緑豊かであることが多くの方に魅力として評価されていると考えられます。



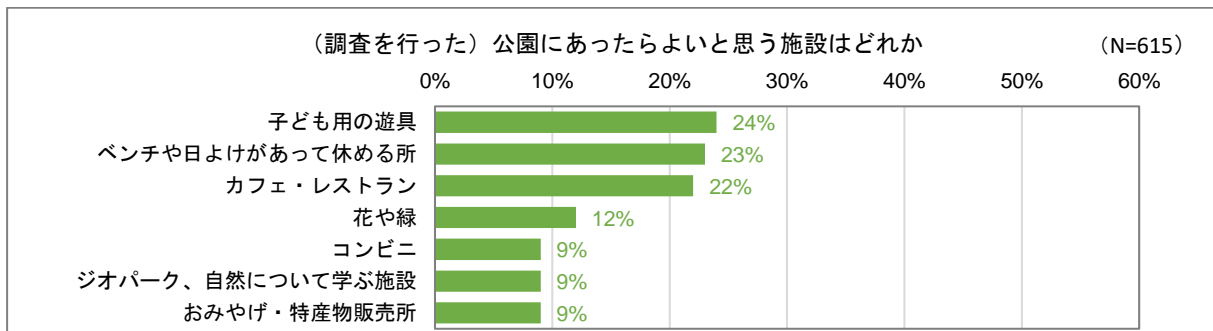
※3つまで選択可、上位5項目

資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書

⑧公園に欲しい施設

「子ども用の遊具」「休める所」「カフェ・レストラン」が上位を占めている

- ・「子ども用の遊具」が24%、「ベンチや日よけがあって休める所」が23%、「カフェ・レストラン」が22%と上位を占めています。
- ・さらに利用される公園としていくため、各公園の特徴を踏まえ、利用者のニーズに対応した公園施設の充実が求められています。



※2つまで選択可、上位5項目

資料：長泉町公園と緑に関するアンケート報告書